

生駒市議会 2023年03月13日：

令和5年第1回定例会 予算委員会（都市建設分科会） 本文

○片山誠也委員長 質疑等ないようでございますので、これにて分科会委員による質疑を終結いたします。

分科会委員の質疑が終わりましたので、次に一括して分科会外委員による質疑に入ります。

質疑等ございませんか。神山委員。

180○神山聡委員 予算書の80ページの負担金補助及び交付金、公共交通利用促進事業負担金について、昨年12月一般質問で公共交通を守ることで質問させてもらって、この路線バスの現状維持は赤字路線だけの問題ではなくて、生駒市全体の路線バスで収支均衡を目指す。そのことによって、バスの維持継続ができるというようなことを奈良交通にも確認をさせてもらっています。今回、毎週金曜日に100円でバスに乗ろうキャンペーン、まず最初の取組としてこれを実施して、現状維持継続を目指すということだと思んですけども、このキャンペーンについては奈良交通と協議か何かをして、利用者を増やすために有効だということ考えられた取組なんでしょうか。

181○片山誠也委員長 清水事業計画課課長補佐。

182○清水亨事業計画課課長補佐 このイベントにつきましては、奈良交通さんとも十分協議させていただいております。先行事例としまして、奈良交通さん関わっておられるところでちょっと形態は違うんですけども、市内でバス無料日を3日間程度という事業をされて、その事業効果としては満足度が非常に高く、バスに好意的な印象を持っていただけたであるとか、日頃バス利用されていない方がバス利用のするきっかけにつながった、イベント当日の利用者数を比較しますと、イベント前と比較して2倍から3倍の利用がありましたというようなこともありましたので、このようなイベントを企画させていただきました。以上です。

183○片山誠也委員長 神山委員。

184○神山聡委員 分かりました。先ほどターゲットの話で夏休みの小中学校の話が出てたんですけど、そのターゲットが小中学生なのか、そうじゃなくて、ターゲットとしてはもう市民全体をターゲットとしているのか、その点、教えてもらえますか。

185○片山誠也委員長 清水補佐。

186○清水亨事業計画課課長補佐 ターゲットとしましては、まずはふだんバスを利用されていない方にバスの利便性を知っていただきたいということが第一です。以上です。

187○片山誠也委員長 神山委員。

188○神山聡委員 分かりました。あと、その広報、周知についてなんですけど、一般質問でも申し上げたんですけど、今までの周知方法よりも質を上げて、市民に一步踏み込んだ形での周知が必要だろうというような話もさせていただきました。今回まだその広報、周知が決まってないというようなことなんですけど、奈良交通に協力してもらって、バスの中とか、奈良交通が広報に協力していくというような話はされているんでしょうか。

189○片山誠也委員長 清水補佐。

190○清水亨事業計画課課長補佐 広報につきましては、具体的に奈良交通さんとまだ話はして

おりませんけれども、関係する奈良交通さんには当然そういう広報、頑張っていていただくというお話をさせていただきたいと思っています。以上です。

191○片山誠也委員長 神山委員。

192○神山聡委員 それは是非よろしく願います。あと、このキャンペーン自体4日ほどの実施ということなんですけど、先ほど何か効果があったというようなお話をいただきましたけど、これ4日ほどの実施で新しい需要が見込めるというふうに考えているのは、どこかでそういった期間、4日間程度でのキャンペーンか何かがあって、それを踏まえて今回4日ほどと決めたということなんですか。

193○片山誠也委員長 清水補佐。

194○清水亨事業計画課課長補佐 4日間だけで何か収支改善に向かうとかということはないんですけれども、この機会にバスの利便性を知っていただいて、バスのメリット、環境面であるとか、経済面であるとか、健康、安全をアピールしていったら、そういう意識の醸成につなげていきたいと考えております。

195○片山誠也委員長 神山委員。

196○神山聡委員 考え方は分かるんですけども、路線バスの維持継続のための取組として、事業として継続していくというようなことであれば、また費用対効果ということも検証していくと思うんですね。その4日ほどの実施の中で費用対効果の検証ということも何らか分かってくるということですか。

197○片山誠也委員長 米田建設部長。

198○米田尚起建設部長 4日程度でどれだけ乗降客数に影響が出てくるのかというのはまだちょっと未知数な状態ですけども、先ほどの質問にもあったように、他部署の連携やイベントとかの連携とかもいろいろ考えながら、その4日間でできるだけ利用促進につながるようなことを今後考えていきたいと思っておりますので、ご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

199○片山誠也委員長 神山委員。

200○神山聡委員 それはもちろんお願いしたいところなんですけど、例えばひかりが丘住宅線、生駒ニュータウン線、北田原線は令和6年2月までをめどに協議ということで、富雄庄田線は6年12月までですけども、そのために今回のこのキャンペーンの効果というところも今後奈良交通と話していく上での一定の交渉の手段になっていくのかなと思うんですけども、その点は効果を検証して交渉に挑んでいくというような考えを持っているということなんですかね。

201○片山誠也委員長 米田部長。

202○米田尚起建設部長 私どももそのように考えております。

203○片山誠也委員長 神山委員。

204○神山聡委員 ありがとうございます。今の路線バスの現状維持をしていくのに、今回この予算で早々にキャンペーン実施してくれるというふうに考えてくれたことについては、もう評価もしてありがたいなと思うんですけど、実際に結果として数字で何らか出していけないと、やっぱり路線バスを必要とする地域のバスってなくなってしまいうんですね。その点はやっぱりもうちょっと効果から結果で数字で交渉に挑めるといふところをしっかりと考えた上での取組というのも今後また展開して考えていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

205○片山誠也委員長 関連の質疑ございますか。塩見委員。

206○塩見牧子委員 先ほど神山委員の質疑に対して、他の路線で実施したそのイベント、前後で二、三倍になったというご答弁だったんですけど、前後なのか、イベント中とイベント外で二、三倍なのかで全然ちょっと違うのでどちらなのでしょう。

207○片山誠也委員長 清水補佐。

208○清水亨事業計画課課長補佐 正確に言いますと、1年前と直近の同じ曜日とイベント当日の利用者を比較したものです。失礼します。

209○片山誠也委員長 塩見委員。

210○塩見牧子委員 だから、イベント中は二、三倍増えたけれども、肝心なのはイベント終わってからもそのイベントをやっているときと同じような効果が得られなきゃいけないので、もちろんこの安くすることによってインセンティブというのはかなり強く働いてはくるとは思いますけれども、それをさらにそのイベントじゃない日まで利用をしようというふうに持っていけるような取組をここに一緒に何か投入できるようなことを考えていただければと思います。

あと、先ほどこの予算の積算根拠として、1日2万人の乗降客があるということをおっしゃっていましたが、これは平日なのか、土曜日、休日を含んだものなのか、どちらなのでしょう。

211○片山誠也委員長 清水補佐。

212○清水亨事業計画課課長補佐 これは統計数字がありますので、年間の利用者数を単純に365日で割ったものです。

213○片山誠也委員長 塩見委員。

214○塩見牧子委員 ということは、休日を含んでいるということなんですけれども、この中で定期券を持っておられる方というのを除かなきゃいけない。定期券持っている方は、当然この100円の日であっても、定期券を持って乗降される可能性があるんで、その辺をもうちょっと定期券除いたら、人数少なくなる、でも2万人というのは今現状の数値であって、利用を促しているのに2万人でいいのかって目標がね、2万人プラスアルファを考えなきゃいけないのかと、ちょっとこの積算に甘さがあるのかなというふうに感じましたので、その辺、もうちょっとこれから制度設計していかれるということなので、その辺きっちり詰めていただければと思います。以上です。

215○片山誠也委員長 関連の質疑ございますか。加藤委員。

216○加藤裕美委員 これ、すごいキャンペーンということで、バスで周知効果もすごくあると思うんですが、奈良交通さんのバスだけじゃなくてコミバスとかタクシーとかも一緒に何か検討してもらえるとかなかったですでしょうか。

217○片山誠也委員長 清水補佐。

218○清水亨事業計画課課長補佐 まず、コミュニティバスにつきましては、市民の買物、通院などに利用されておりまして、路線バスに比べますと定員が少ないということもありまして、イベントで多くの方が利用されると、ふだん利用されている方が乗れないというようなことも可能性もあることから対象とはしておりません。タクシーにつきましては、ちょっと制度設計的に難しいところもありまして、今回は検討しておりません。以上です。

219○片山誠也委員長 加藤委員。

220○加藤裕美委員 そんなにコミバス、混んでたかなってちょっと思ったんですけど、今後金曜日も、

金曜日って定期で使われたりとか通勤、通学で使われている方が多いので、何か土日に非レギュラーで使うような人もやってもらいたいと思うので、次、企画があるときは土曜日とか入れてもらって、コミバスも一緒に考えてもらえたらなと思います。コミバスがちょっと奈良交通さんより高いというのはちょっと、コミバスなのに高いのはちょっとあれなので、コミバスも一緒に混ぜてもらって、コミバスもワンコインで乗ってもらって、まず促進してもらえるようにまたご検討お願いしたいなと思います。

221〇片山誠也委員長 公共交通利用促進事業で他に質疑ございますか。

(「なし」との声あり)